線形代数学 II (Linear Algebra II)

平場　誠示 (Seiji HIRABA)

2018 年 5 月 3 日

目 次

本テキストでは数ベクトルは縦ベクトルとして, 数ベクトルと行列を次のように表す.

$$\boldsymbol{a} = \begin{pmatrix} a_1 \\ a_2 \\ \vdots \\ a_n \end{pmatrix}, \quad A = \begin{pmatrix} a_{11} & \cdots & a_{1n} \\ a_{21} & \cdots & a_{2n} \\ & \vdots & \\ a_{m1} & \cdots & a_{mn} \end{pmatrix}.$$

またスペースの関係で縦に書くのが面倒なときは転置の記号を用いて $\boldsymbol{a} = {}^t(a_1, \ldots, a_n)$ と表すこともある. また添字の範囲が分っているときは簡単に $\boldsymbol{a} = (a_i), A = (a_{ij})$ と表す.